



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月13日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3143 URL https://owill.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 一紀  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 青柳 あゆみ TEL 03 (5772) 4488  
定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月26日  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	31,775	1.7	958	1.7	909	4.0	681	17.4
2023年3月期	31,255	10.4	942	14.1	875	5.8	580	0.9

(注) 包括利益 2024年3月期 731百万円 (33.5%) 2023年3月期 547百万円 (△7.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	220.69	—	16.1	7.3	3.0
2023年3月期	184.29	—	15.0	8.0	3.0

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 -100百万円 2023年3月期 -100百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	13,629	4,544	32.3	1,472.07
2023年3月期	11,445	4,164	35.4	1,286.55

(参考) 自己資本 2024年3月期 4,401百万円 2023年3月期 4,052百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	280	28	△310	1,851
2023年3月期	184	△31	△166	1,793

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	47.00	47.00	148	25.5	3.8
2024年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	149	22.7	3.6
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	55.00	55.00		23.5	

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	10.1	1,030	7.4	1,030	13.2	700	2.7	234.14

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	3,150,000株	2023年3月期	3,150,000株
2024年3月期	160,329株	2023年3月期	304株
2024年3月期	3,088,139株	2023年3月期	3,149,696株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	30,283	1.3	869	0.0	808	1.1	640	22.9
2023年3月期	29,883	8.9	869	11.2	799	3.6	521	△2.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	207.46	—
2023年3月期	165.49	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年3月期	12,988		4,104		31.6		1,372.73	
2023年3月期	11,039		3,853		34.9		1,223.43	

(参考) 自己資本 2024年3月期 4,104百万円 2023年3月期 3,853百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(その他)

決算補足説明資料については、後日当社ホームページ上に掲載しますのでそちらをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 企業集団の状況 .....	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
4. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18
5. 個別財務諸表及び主な注記 .....	19
(1) 貸借対照表 .....	19
(2) 損益計算書 .....	21
(3) 株主資本等変動計算書 .....	22

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和に伴う人流の増加やインバウンド需要の回帰等により、社会経済活動の正常化が一段と進んだことで、緩やかに回復しています。しかしながら、実質賃金の伸び悩み、エネルギー価格や原材料価格の高騰、米国との金利差拡大による円安相場の常態化等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品飲料業界においては、人出の回復により消費に持ち直しが見られるものの、原材料価格や物流費の上昇に加えて、消費者の節約志向の高まりを受け、今後の経営環境は引き続き厳しい状況が予想されます。

このような状況下、当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安全な商品を提供することを第一に品質管理体制の強化を図り、お客様のニーズに合わせた安定的な供給の継続及びサービスの向上に努めてまいりました。卸売事業においては、収益基盤となる既存事業の深耕を図り、主力カテゴリーである食品副原料の販売が堅調に推移いたしました。また、環境ビジネス関連の大型シーリングファンの需要が引き続き高く、販売が好調に推移いたしました。加えて、製造販売事業においては、飲食店やレジャー施設の客足が回復したことにより、アイスクリームの販売が好調に推移しました。以上の結果、当連結会計年度の売上高は31,775,239千円（前期比1.7%増）となりました。利益面においては、売上高の増加に伴って売上総利益が増加したことにより、営業利益は958,776千円（前期比1.7%増）となりました。営業外においては円安の影響に伴う為替差損が前連結会計年度と比較して抑制されたことにより、経常利益は909,678千円（前期比4.0%増）となりました。また、投資有価証券売却益を91,924千円計上したことにより、税金等調整前当期純利益は1,005,446千円（前期比14.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は681,515千円（前期比17.4%増）となりました。

また、総資産は13,629,513千円（前期末比19.1%増）、純資産は4,544,776千円（前期末比9.1%増）となり、自己資本比率は32.3%となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### <卸売事業>

当連結会計年度の清涼飲料市場は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行などを背景に人流が増加したものの、商品値上げによる買い控えの影響を受け、出荷数量は前年比微減となりました。原材料価格や物流費の上昇を受け、飲料メーカー各社は一部商品を値上げして利益確保に取り組んでいるものの、物価上昇による節約志向の強まりなどにより今後の市場環境は不透明な状況が続くことが予想されます。

このような状況下、当社グループは、取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努めてまいりました。また、新規商材の発掘・提案にも積極的に取り組み、取引先の拡大や利益率改善を図ってまいりました。主力カテゴリーである糖類や香料などの食品副原料の販売が堅調に推移したことに加えて、環境ビジネス関連の大型シーリングファンの販売が好調に推移した結果、卸売事業の売上高は31,567,592千円（前期比1.2%増）となりました。

#### <製造販売事業>

当連結会計年度におけるアイスクリーム市場は、原材料費や水道光熱費などの製造コストの上昇を受け、各社とも厳しい状況にあったものの、夏場の猛暑や秋口まで続いた温暖な天候の影響を受け、拡大傾向で推移いたしました。また、家庭での喫食シーンでの需要増のみならず、飲食店やレジャー施設における外食需要が回復したことにより、業務用アイスクリームの需要が増加いたしました。

このような状況下、当社グループは、安心かつ安全な商品の提供を第一に、商品開発にも注力し、取引先のニーズに合ったPB商品の提供並びにNB商品の販売強化に努めてまいりました。新規顧客先からの受注に加えて、主要顧客先からも安定的な受注を獲得した結果、製造販売事業の売上高は911,093千円（前期比35.0%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の取引を含んでおります。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、主に売掛金、商品及び製品の増加により12,246,551千円(前期末比22.7%増)となりました。また固定資産は、設備投資に伴う固定資産を取得したものの、投資有価証券の売却があったことにより1,382,962千円(前期末比5.7%減)となり、この結果、当連結会計年度末における資産は13,629,513千円(前期末比19.1%増)となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、主に買掛金の増加により、7,644,420千円(前期末比31.8%増)となりました。また固定負債は1,440,316千円(前期末比2.8%減)となりました。この結果、当連結会計年度末における負債は9,084,736千円(前期末比24.8%増)となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、主に利益剰余金の増加により、4,544,776千円(前期末比9.1%増)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,851,414千円(前期末比3.2%増)となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、280,496千円(前期比51.7%増)となりました。主な増加要因は、税金等調整前当期純利益1,005,446千円、仕入債務の増加1,510,762千円及び前渡金の減少146,755千円によるものであります。一方で、主な減少要因は、売上債権の増加1,802,440千円、棚卸資産の増加541,894千円及び法人税等の支払額257,944千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、28,284千円(前期は31,759千円の支出)となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入及び有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、310,966千円(前期比86.6%増)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出及び自己株式取得の取得による支出によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第34期 2020年3月期	第35期 2021年3月期	第36期 2022年3月期	第37期 2023年3月期	第38期 2024年3月期
自己資本比率(%)	31.2	32.2	35.0	35.4	32.3
時価ベースの自己資本比率(%)	31.2	32.6	33.5	30.4	34.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	—	289.7	1,313.6	1,204.2	808.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	89.9	20.1	19.2	23.1

※ 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。

2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

3. 第34期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、持続的な賃上げによる所得環境の改善やインバウンド需要の更なる高まり等により国内消費活動の改善が期待されますが、ウクライナや中東における地政学リスクの高まりや円安の影響に伴う原材料及び資源価格の高騰といった悪材料も想定される状況にあります。景気の先行きは依然として不透明感が強く、本格的な回復にはまだ時間を要するものと考えられます。また、少子高齢化による国内市場の縮小が経済全体に与える影響も大きく、企業は収益構造の転換を迫られており、今後の重要な課題となっております。

当社が主に事業を行う食品飲料業界においては、食品原料流通の国際化が加速していることに加え、新興国の食糧需要増加や気候変動による農産物の需給バランスの変化など、食品原料の調達は激しさを増していくと思われまます。また、SDGsをはじめとする持続可能な社会の実現に向けた社会課題への対応や環境に配慮した様々な取り組みなど、企業が果たす役割や責任も増大しております。

このような状況下、当社グループは、国内及び海外市場の動向や消費者の多様なニーズを迅速に捉え、食の安全性の確保と安定供給の継続を第一に、顧客サービスの充実に努め、引き続き既存事業の深耕に注力してまいります。2025年3月期におきましては、前期に引き続き4つのグループ戦略である既存収益基盤事業、成長ドライバー事業、新規事業、関係会社事業の具現化を図るとともに、積極的な人材投資やIT・DX戦略の推進等を踏まえて年度予算を策定しております。2025年3月期通期の業績見通しにつきましては、売上高35,000,000千円(当年同期比10.1%増)、営業利益1,030,000千円(当年同期比7.4%増)、経常利益1,030,000千円(当年同期比13.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益700,000千円(当年同期比2.7%増)を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主への利益還元を経営の重要課題と位置づけており、業績の伸長に沿った適正な利益配分の継続と安定的な配当水準の維持を基本方針としております。

当期の配当金は、当初公表させていただいているとおり、1株当たり50円を予定しております。なお、次期の配当につきましては、上記の方針を踏まえ、1株につき55円の年間配当金とする予定であります。

## 2. 企業集団の状況

当社グループは、オーウイル株式会社（当社）及び子会社である株式会社サンオーネスト、並びに海外子会社の J. S. O' will, Inc. にて構成されており、その主な事業内容は以下の通りであります。

### ① 卸売事業

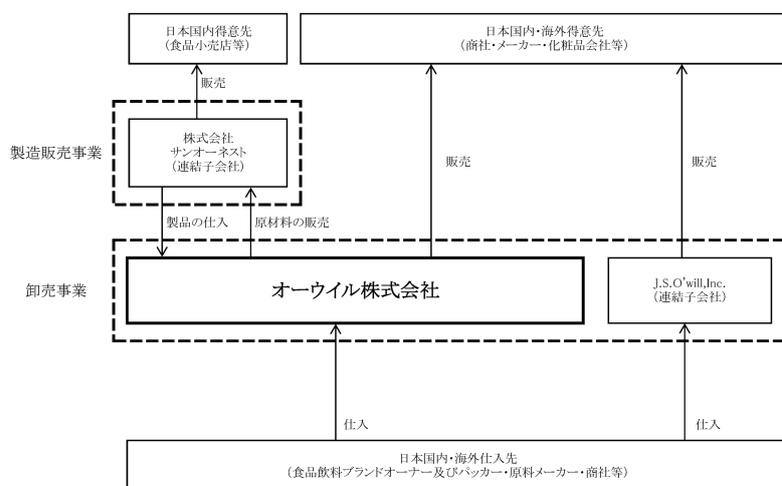
食品、飲料の製造や保存・加工などに使用するビタミン類、食品添加物、殺菌乳、農産物加工品等の原料や窒素、珪藻土等の資材を国内外より調達して取引先に販売するほか、物流倉庫などの大型施設にシーリングファンの販売を行っております。また、米国子会社においては、業務用ヒーターを扱っております。

### ② 製造販売事業

子会社の株式会社サンオーネストにて、アイスクリームの製造・販売を行っております。

### [事業系統図]

当社グループの事業内容を系統図によって示すと、次のとおりであります。



## 3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,793,749	1,851,414
受取手形	80,330	151,863
売掛金	4,488,316	6,247,805
商品及び製品	2,163,607	2,448,300
未着商品	594,266	858,729
原材料及び貯蔵品	95,561	95,287
前渡金	490,192	343,436
未収入金	197,209	154,627
関係会社短期貸付金	30,000	30,000
その他	90,357	110,526
貸倒引当金	△44,558	△45,441
流動資産合計	9,979,033	12,246,551
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	520,353	489,655
減価償却累計額	△230,455	△188,676
建物及び構築物(純額)	289,897	300,978
機械及び装置	106,025	141,041
減価償却累計額	△65,752	△80,118
機械及び装置(純額)	40,273	60,922
車両運搬具	32,423	39,797
減価償却累計額	△25,271	△28,764
車両運搬具(純額)	7,152	11,032
工具、器具及び備品	156,026	172,233
減価償却累計額	△119,591	△122,699
工具、器具及び備品(純額)	36,435	49,533
土地	9,000	—
リース資産	102,318	104,094
減価償却累計額	△14,724	△31,146
リース資産(純額)	87,594	72,947
建設仮勘定	8,000	42,227
有形固定資産合計	478,352	537,641
無形固定資産		
ソフトウエア	1,679	43,632
その他	1,638	1,638
無形固定資産合計	3,318	45,271
投資その他の資産		
投資有価証券	521,121	372,002
関係会社長期貸付金	90,000	60,000
ゴルフ会員権	162,300	162,300
差入保証金	149,524	154,204
繰延税金資産	32,625	22,574
その他	28,967	28,967
投資その他の資産合計	984,539	800,049
固定資産合計	1,466,210	1,382,962
資産合計	11,445,243	13,629,513

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,521,216	6,042,257
1年内返済予定の長期借入金	776,530	844,982
リース債務	15,233	10,664
未払金	159,156	292,888
未払法人税等	142,669	166,636
前受金	367	145
賞与引当金	37,754	47,908
その他	145,296	238,936
流動負債合計	5,798,222	7,644,420
固定負債		
長期借入金	1,361,212	1,349,142
リース債務	73,453	63,016
繰延税金負債	36,791	18,275
資産除去債務	10,756	9,881
固定負債合計	1,482,213	1,440,316
負債合計	7,280,436	9,084,736
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	292,475
利益剰余金	3,145,022	3,678,501
自己株式	△259	△203,332
株主資本合計	3,800,625	4,131,032
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181,066	131,223
繰延ヘッジ損益	△6,619	4,247
為替換算調整勘定	77,180	134,512
その他の包括利益累計額合計	251,626	269,982
非支配株主持分	112,554	143,761
純資産合計	4,164,806	4,544,776
負債純資産合計	11,445,243	13,629,513

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	31,255,516	31,775,239
売上原価	28,090,151	28,510,521
売上総利益	3,165,364	3,264,717
販売費及び一般管理費	2,223,004	2,305,941
営業利益	942,359	958,776
営業外収益		
受取利息	698	555
受取配当金	9,529	10,481
受取手数料	6,327	6,327
受取補償金	3,746	4,031
補助金収入	4,735	12,500
その他	997	1,781
営業外収益合計	26,034	35,677
営業外費用		
支払利息	9,402	11,842
為替差損	81,284	70,947
支払補償費	388	393
その他	2,246	1,592
営業外費用合計	93,322	84,775
経常利益	875,072	909,678
特別利益		
固定資産売却益	—	9,977
投資有価証券売却益	—	91,924
特別利益合計	—	101,901
特別損失		
固定資産売却損	—	6,133
特別損失合計	—	6,133
税金等調整前当期純利益	875,072	1,005,446
法人税、住民税及び事業税	276,536	300,159
法人税等調整額	△2,764	9,305
法人税等合計	273,771	309,464
当期純利益	601,301	695,982
非支配株主に帰属する当期純利益	20,849	14,466
親会社株主に帰属する当期純利益	580,452	681,515

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	601,301	695,982
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68,561	△49,843
繰延ヘッジ損益	△19,279	10,866
為替換算調整勘定	34,193	74,072
その他の包括利益合計	△53,647	35,096
包括利益	547,653	731,078
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	519,077	699,870
非支配株主に係る包括利益	28,576	31,207

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	363,387	292,475	2,712,605	△259	3,368,209
当期変動額					
剰余金の配当			△148,035		△148,035
親会社株主に帰属する当期純利益			580,452		580,452
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	432,416	—	432,416
当期末残高	363,387	292,475	3,145,022	△259	3,800,625

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	249,627	12,659	50,714	313,001	83,977	3,765,188
当期変動額						
剰余金の配当						△148,035
親会社株主に帰属する当期純利益						580,452
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△68,561	△19,279	26,465	△61,375	28,576	△32,798
当期変動額合計	△68,561	△19,279	26,465	△61,375	28,576	399,618
当期末残高	181,066	△6,619	77,180	251,626	112,554	4,164,806

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	363,387	292,475	3,145,022	△259	3,800,625
当期変動額					
剰余金の配当			△148,035		△148,035
親会社株主に帰属する当期純利益			681,515		681,515
自己株式の取得				△203,072	△203,072
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計			533,479	△203,072	330,406
当期末残高	363,387	292,475	3,678,501	△203,332	4,131,032

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	181,066	△6,619	77,180	251,626	112,554	4,164,806
当期変動額						
剰余金の配当						△148,035
親会社株主に帰属する当期純利益						681,515
自己株式の取得						△203,072
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△49,843	10,866	57,332	18,355	31,207	49,563
当期変動額合計	△49,843	10,866	57,332	18,355	31,207	379,969
当期末残高	131,223	4,247	134,512	269,982	143,761	4,544,776

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	875,072	1,005,446
減価償却費	50,624	66,532
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,007	882
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,249	10,154
受取利息及び受取配当金	△10,227	△11,037
支払利息	9,402	11,842
為替差損益 (△は益)	△11,044	△13,207
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△91,924
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△3,843
売上債権の増減額 (△は増加)	△278,176	△1,802,440
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△232,860	△541,894
未収入金の増減額 (△は増加)	△75,035	42,581
前渡金の増減額 (△は増加)	△254,468	146,755
仕入債務の増減額 (△は減少)	440,684	1,510,762
未払金の増減額 (△は減少)	△21,305	142,916
前受金の増減額 (△は減少)	△7,524	△221
その他	△20,237	66,097
小計	456,645	539,402
利息及び配当金の受取額	10,648	11,173
利息の支払額	△9,650	△12,134
法人税等の支払額	△272,761	△257,944
営業活動によるキャッシュ・フロー	184,882	280,496
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△40,562	△166,438
有形固定資産の売却による収入	—	43,986
無形固定資産の取得による支出	—	△48,372
差入保証金の差入による支出	△21,697	△135
投資有価証券の売却による収入	—	169,245
貸付金の回収による収入	30,000	30,000
差入保証金の回収による収入	500	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,759	28,284
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	850,000	950,000
長期借入金の返済による支出	△853,775	△893,618
リース債務の返済による支出	△14,516	△15,775
自己株式の取得による支出	—	△203,072
配当金の支払額	△148,300	△148,499
財務活動によるキャッシュ・フロー	△166,591	△310,966
現金及び現金同等物に係る換算差額	31,405	59,850
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	17,935	57,665
現金及び現金同等物の期首残高	1,775,813	1,793,749
現金及び現金同等物の期末残高	1,793,749	1,851,414

(5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは事業内容及び市場の類似性を考慮し、下記の2つを報告セグメントとしております。

区分	主要商品又は事業内容
卸売事業	飲料・食品の製造用原料及び製品（ビタミン類、食品添加物、殺菌乳、農産物加工品、飲料製品等）、排水浄化プラント、大型シーリングファン、業務用ヒーター等の国内販売及び輸出入取引
製造販売事業	アイスクリーム等の製造・販売

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメント間の取引は、一般的な商取引と同様の条件で行っております。

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上 額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,878,184	377,331	31,255,516	—	31,255,516
セグメント間の内部売上 高又は振替高	303,343	297,749	601,092	△601,092	—
計	31,181,528	675,080	31,856,608	△601,092	31,255,516
セグメント利益又は損失 (△)	986,351	△42,351	944,000	△1,640	942,359
セグメント資産	11,356,358	756,687	12,113,045	△667,802	11,445,243
その他の項目					
減価償却費	20,807	29,816	50,624	—	50,624
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	37,541	113,035	150,576	—	150,576

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上 額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,339,172	436,067	31,775,239	—	31,775,239
セグメント間の内部売上 高又は振替高	228,419	475,026	703,446	△703,446	—
計	31,567,592	911,093	32,478,685	△703,446	31,775,239
セグメント利益又は損失 (△)	954,908	8,857	963,765	△4,989	958,776
セグメント資産	13,543,735	777,531	14,321,267	△691,754	13,629,513
その他の項目					
減価償却費	31,378	35,153	66,532	—	66,532
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	91,746	114,363	206,110	—	206,110

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△1,640	△4,989
合 計	△1,640	△4,989

セグメント資産

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△667,802	△691,754
合 計	△667,802	△691,754

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社伊藤園	6,163,174	卸売事業

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社伊藤園	5,843,448	卸売事業

**【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】**

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】**

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,286.55円	1,472.07円
1株当たり当期純利益金額	184.29円	220.69円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	580,452	681,515
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	580,452	681,515
期中平均株式数(株)	3,149,696	3,088,139

(重要な後発事象)

取得による企業結合

当社は2024年3月25日開催の取締役会において、株式会社海鮮の全株式を取得し、子会社化することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。当該株式の取得は、2024年4月1日に完了しております。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称 株式会社海鮮

事業の内容 鮮凍魚介類の輸入及び国内買付販売、魚卵の輸入及び加工販売

② 企業結合を行った理由

当社グループは、商社として、食を中心とした事業を展開しており、主に食品原材料の国内販売及び輸出入取引を行っているほか、アイスクリーム等の製造販売を行っております。また、事業の多角化を図るべく新規事業の開発にも注力しており、近年では環境事業への取り組みを推進し、関連アイテムの販売活動を行っております。

株式会社海鮮は鮮凍魚介類の卸売事業並びに魚卵の輸入・加工販売事業を中心に事業を展開しております。当社グループは新たな事業の柱を構築する上で、水産分野への進出が当社グループの更なる成長に繋がるものと判断し、本株式取得を行うことといたしました。

③ 企業結合日

2024年4月1日

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後企業の名称

名称に変更はありません。

⑥ 取得する議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得するためであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金 525,331千円

取得原価 525,331千円

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 53,986千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

## 5. 個別財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,300,838	1,282,110
受取手形	80,330	151,863
売掛金	4,450,748	6,060,980
商品及び製品	2,091,631	2,330,401
未着商品	609,045	948,627
原材料	59,933	60,969
前渡金	483,013	343,436
前払費用	30,255	29,924
関係会社短期貸付金	230,000	55,000
未収入金	213,108	159,742
為替予約	—	6,121
その他	45,811	59,810
貸倒引当金	△44,558	△45,441
流動資産合計	9,550,159	11,443,547
固定資産		
有形固定資産		
建物	133,480	45,344
減価償却累計額	△95,229	△39,329
建物(純額)	38,250	6,014
機械及び装置	13,805	22,578
減価償却累計額	△6,965	△10,688
機械及び装置(純額)	6,839	11,889
車両運搬具	12,032	12,032
減価償却累計額	△12,032	△12,032
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	80,025	94,691
減価償却累計額	△51,800	△52,563
工具、器具及び備品(純額)	28,224	42,128
土地	9,000	—
建設仮勘定	—	5,000
有形固定資産合計	82,315	65,032
無形固定資産		
ソフトウェア	586	42,530
その他	1,158	1,158
無形固定資産合計	1,745	43,689
投資その他の資産		
投資有価証券	501,121	352,002
関係会社株式	151,077	151,077
関係会社長期貸付金	440,000	585,000
ゴルフ会員権	162,300	162,300
差入保証金	134,991	139,456
繰延税金資産	17,836	17,646
その他	28,967	28,967
貸倒引当金	△30,916	—
投資その他の資産合計	1,405,377	1,436,450
固定資産合計	1,489,438	1,545,172
資産合計	11,039,597	12,988,719

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,603,137	5,992,478
1年内返済予定の長期借入金	770,130	844,982
未払金	141,710	268,734
未払費用	9,202	11,634
未払法人税等	142,372	166,340
前受金	367	145
預り金	7,835	13,405
為替予約	9,541	—
賞与引当金	37,754	47,908
その他	101,931	189,933
流動負債合計	5,823,983	7,535,562
固定負債		
長期借入金	1,361,212	1,349,142
資産除去債務	960	—
固定負債合計	1,362,172	1,349,142
負債合計	7,186,155	8,884,704
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金		
資本準備金	288,387	288,387
資本剰余金合計	288,387	288,387
利益剰余金		
利益準備金	2,465	2,465
その他利益剰余金		
別途積立金	50,000	50,000
繰越利益剰余金	2,975,014	3,467,637
利益剰余金合計	3,027,479	3,520,102
自己株式	△259	△203,332
株主資本合計	3,678,995	3,968,545
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	181,066	131,223
繰延ヘッジ損益	△6,619	4,247
評価・換算差額等合計	174,446	135,470
純資産合計	3,853,441	4,104,015
負債純資産合計	11,039,597	12,988,719

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	29,883,233	30,283,248
売上原価		
商品期首棚卸高	1,483,655	2,091,631
当期商品仕入高	27,722,193	27,707,453
合計	29,205,848	29,799,084
商品期末棚卸高	2,091,631	2,330,401
商品売上原価	27,114,217	27,468,683
売上総利益	2,769,016	2,814,564
販売費及び一般管理費	1,899,583	1,944,904
営業利益	869,432	869,660
営業外収益		
受取利息	685	535
受取配当金	9,529	10,481
受取手数料	6,327	6,327
受取補償金	3,732	4,022
その他	676	1,083
営業外収益合計	20,950	22,450
営業外費用		
支払利息	8,773	11,140
為替差損	81,284	70,947
支払補償費	388	30
その他	139	1,459
営業外費用合計	90,586	83,577
経常利益	799,796	808,534
特別利益		
固定資産売却益	—	9,941
投資有価証券売却益	—	91,924
関係会社貸倒引当金戻入額	—	30,916
特別利益合計	—	132,782
特別損失		
関係会社株式評価損	3,347	—
関係会社貸倒引当金繰入額	30,916	—
固定資産売却損	—	5,945
特別損失合計	34,263	5,945
税引前当期純利益	765,532	935,371
法人税、住民税及び事業税	248,439	277,320
法人税等調整額	△4,157	17,392
法人税等合計	244,282	294,713
当期純利益	521,250	640,658

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			利益剰余金合計			
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金					
					別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	363,387	288,387	288,387	2,465	50,000	2,601,799	2,654,264	△259	3,305,780	
当期変動額										
剰余金の配当						△148,035	△148,035		△148,035	
当期純利益						521,250	521,250		521,250	
自己株式の取得										
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	373,214	373,214	—	373,214	
当期末残高	363,387	288,387	288,387	2,465	50,000	2,975,014	3,027,479	△259	3,678,995	

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	249,627	12,659	262,287	3,568,067
当期変動額				
剰余金の配当				△148,035
当期純利益				521,250
自己株式の取得				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△68,561	△19,279	△87,840	△87,840
当期変動額合計	△68,561	△19,279	△87,840	285,373
当期末残高	181,066	△6,619	174,446	3,853,441

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	363,387	288,387	288,387	2,465	50,000	2,975,014	3,027,479	△259	3,678,995
当期変動額									
剰余金の配当						△148,035	△148,035		△148,035
当期純利益						640,658	640,658		640,658
自己株式の取得								△203,072	△203,072
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	492,623	492,623	△203,072	289,550
当期末残高	363,387	288,387	288,387	2,465	50,000	3,467,637	3,520,102	△203,332	3,968,545

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	181,066	△6,619	174,446	3,853,441
当期変動額				
剰余金の配当				△148,035
当期純利益				640,658
自己株式の取得				△203,072
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△49,843	10,866	△38,976	△38,976
当期変動額合計	△49,843	10,866	△38,976	250,573
当期末残高	131,223	4,247	135,470	4,104,015